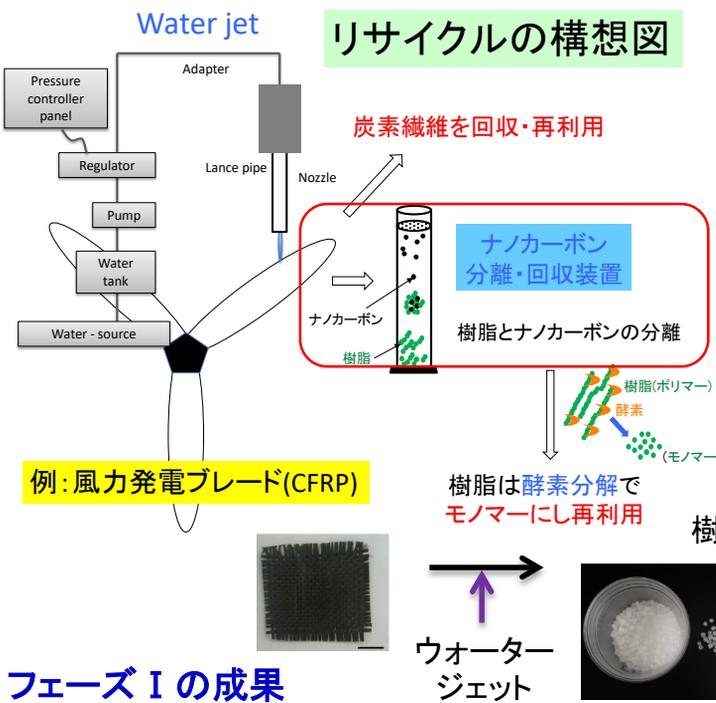


# 4 リサイクル技術

## －熱可塑性樹脂複合材料のリサイクル技術開発－

社会実装の姿

岡山大学 松浦宏治



### ターゲットユーザー

- ・リサイクルメーカー
- ・水質浄化メーカー

### ユーザーベネフィット

- ・化学物質を用いないで疎水性の炭素繊維やナノカーボンを回収できる。
- ・安価で環境負荷が小さい。

### 差別化のポイント

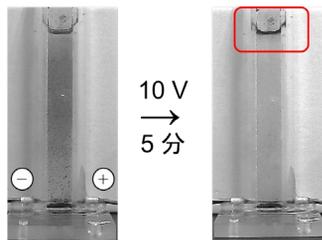
- ・MBの発生に必要な装置は電極だけそのため、必要電力量が小さい。

(ウォータージェットで研った後の) 水中から炭素繊維をマイクロバブル(MB)を用いて分離回収できるか検証

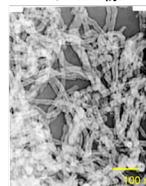
## 大学での成果

電気分解法を用いたMB発生装置による分離回収に関する検証

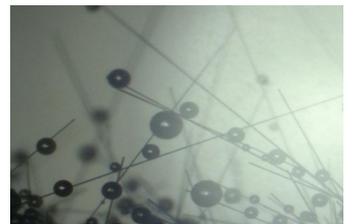
1) テーブルトップ型容器



Multi-walled carbon nanotubes (MWCNTs) のTEM像

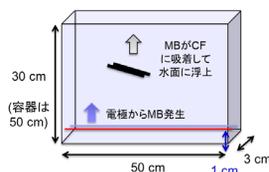


MBsのMWCNTsや炭素繊維への吸着



MB吸着が浮上には重要

2) 100 Lスケール容器



進捗状況	原理・検証	技術開発	実証・事業化前
(開発ステージ)	○	○	

## フェーズ II 以降の取組

本課題はフェーズ I で終了 特許: 第6732217号(岡山大学)